



企業×ウェルネスバレー(WV)
WV ブランド認定

みんなで作り 健康長寿を発信！

健康に長生きできる社会の実現を目指し、心身の健康や人との支えあいを理念に掲げるウェルネスバレー構想。この理念のもとに、企業とウェルネスバレー関係機関が協力して生まれた、よりよい暮らしを提案する商品がブランド認定されました。

認定された商品を、商品化に至るエピソードや今後の展望とともにお伝えします。

ウェルネスバレー推進課 ☎(45)6255

知多半島ナビ×健康プラザ バイクスタンド



まちに人を招くバイクスタンド

サイクリストが多く訪れる知多半島。しかし、ロードバイクを停める設備がないため(ロードバイクには自立スタンドがない)、沿道の店舗も訪れる人たちも不便を感じていました。そこで開発されたのが「ロードバイク用バイクスタンド」です。

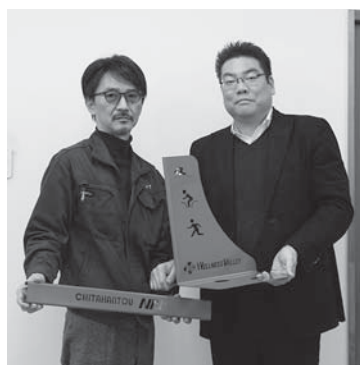
鮮やかな赤のスタンドと専用ののぼりは、道路を走っていてもすぐに見つけられることができ、サイクリストが気軽に立ち寄れる店舗や休憩場所の目印になっています。海や山など見どころの

多い知多半島で、立ち止まって食べ物や風景を楽しむことができるので、好評を博しています。また、立ち寄った場所の写真などがSNSなどで拡散されることで、さらにまちに人が訪れるきっかけにもなっているとのこと。

スタンドの存在は口コミで広がりをみせ、問い合わせが増えています。現在は、知多半島内90カ所近くの店舗に設置され、多くのサイクリストの憩いの場になっています。

洗練されたデザイン+機能性！

洗練されたデザインのバイクスタンド。市内の(有)山本鋳金の代表取締役で芸術にも精通している笹田栄治さんがデザインしました。複数台を停めることができるスタンドは折り畳みや連結など、無駄を省いたシンプルなデザインで機能性を重視したもの。一台用のスタンドは、トライアスロンをイメージしたデザインがウェルネスバレーのロゴとともに打ち抜かれ、遊び心も表れています。一台用



▲山本鋳金 笹田栄治さん(写真左)
矢田化学工業 中本和則さん(同右)



▲あいち健康プラザホテルでは愛車と一緒に泊まれる宿泊プランがあります

のスタンドは、自転車の重心を前輪で支えるため重さを調節するなど、デザインと機能の工夫に苦労したそうです。

パッと目を引くバイクスタンドの色を作り出したのが、同じく市内の(有)矢田化学工業。イメージ通りの色を作り出し、丁寧な塗装でバイクスタンドに息を吹き込みました。

遠方から来るサイクリストのため、あいち健康プラザのホテルでは、宿泊室内に一台用のスタンドを設置した「愛車と泊まれる宿泊プラン」を用意しています。一台用スタンドのデザインにもホテルの意見が取り入れられており、ともに作り上げた作品でもあるのです。

バイクスタンドは「一台用」「固定用」「折りたたみ」の3タイプ。1台用の値段は2万5000円、固定用の値段は3万2400円、折りたたみの値段は3万5000円(いずれも税込み)。商品についてのお問い合わせは、電話で(株)知多半島ナビ(0569(89)2919)へ。

ウェルネスバレーブランドとは



ウェルネスバレーブランドとは、健康長寿関連の商品またはサービスで、ウェルネスバレー関係機関が開発・改良に関わったものをウェルネスバレー推進協議会が認定する制度です。

現在までにブランド認定された商品、サービスは7件。ウェルネスバレー関係機関は、商品・サービスの開発や改良に関して助言・指導をしたり、施設などの現場における実証・フィールドバックなど、各機関の知見やフィールドの特性を生かした協力をしています。

大府商工会議所と東浦町商工会が窓口となり、条件を満たす民間事業者などからの申請を受け付けています。申請があると、ウェルネスバレー推進協議会が「認定審査会」を開催し、基準に基づいて採否を判定します。



(株)吉見製作所が開発した「夢の腰サポーター」は、形状記憶合金の超弾性（一定の力で大きく曲がり、元の形状に戻るばね効果）を利用して屈曲時の腰部への負担を軽減します。また、直立姿勢そのものを補助することで長時間の立姿勢、座位姿勢で腰を保護する効果も併せ持ちます。装脱着が容易で

形状記憶合金で体を支えることはできないか

開発当初、形状記憶合金線材の太さ・長さ・本数の選定や、効果確認のためのデータ収集・分析などに課題がありました。ウエルネスバレー関連機関である愛媛ホーム大府苑を始めとしたいくつかの介護施設や農家・企業などで実証を重ね、意見を聞き、現状の仕様にたどり着きました。試着した人たちからは「立っている仕事で

ヒントになったのは現場の声



▲吉見製作所 坂一宏さん(写真左)
同 安田寛治さん(同右)



木質構造研究会×ウッド・ビレッジ 木製ユニット屋根

木を生かした丈夫なシェルター
スギの間伐材を活用した建造物で駐車場や駐車場、休憩所などとして活用ができる「ウッドクロスシエルター」。

木質構造研究会の一員である名古屋大学の先生が大学駐輪場のデザインを学生から募集し、それを木で作れないか(協)健康木の住まいウッド・ビレッジとともに研究し開発しました。デザインは、木と木が交差するようなものでしたが、単純に丸太を交差させると自立は困難でした。そこで、1本の丸太を2本の丸太で挟む形で交差させることで自立し、かつ耐震強度もある構造にしました。

ウッドクロスシエルターは、ウッドチャレンジ2015(木質外構・外装材提案部門)と、ウッドデザイン賞2015 新・木づかい顕彰を受賞しています。



▲ウッド・ビレッジ 今井宏さん(写真右)
木質構造研究会 家田宏さん(同左)

**設営簡単！
高いコストパフォーマンス！**
設営は大人3人がかりでおよそ1日で組み立て可能とのこと。間伐材を有効活用することで、コストを抑えることができます。

居心地の良いデザインを
身近に木を見る機会が減ってきている現代において、木にこだわりのある方や、空間に優しい雰囲気を取り入れたい方などに使ってほしいと製作関係者であるウッド・ビレッジ今井宏さんと、木質構造研究会の家田宏さんは話します。

また、2人にはウエルネスバレー地区内での設置の構想もあり、ウッドクロスシエルターがあるところがウエルネスバレーと思ってもらえるようなシンボリックな存在になってほしい、ウッドクロスシエルターを中心として、ウエルネスバレーが一つのまちのようになっていくとうれしいと話します。ウッドクロスシエルターの値段は、1ユニット45万円、2ユニット60万円(いずれも基礎工事含まず・税込み)。商品についての問い合わせは、ウッド・ビレッジ事務局今井宏さん(☎45(6224)へ)。



サンテクノ×あいち小児・
ルミナス大府・げんきの郷
銀イオン除菌水

装置で生成される「銀イオン水」について、最近の研究では、レジオネラ菌の他、大腸菌、O-157菌、MRSA菌、黄色ブドウ球菌、緑膿菌などに対する殺菌効果があることも分

薬品に頼らない除菌水

（株）サンテクノはビルのメンテナンスをしている会社で、あるとき取引先から「空調の冷却塔内のレジオネラ菌対策で最適なものはないか」と相談を受けました。そのとき、古くから食器などに使用され腐食防止などにも活用されてきた銀、人と環境にやさしい銀イオンが最適ではないかと考え「銀イオン水生成装置」の開発を進め、完成に至りました。現在、名古屋駅周辺の地下街ESCA構内空調冷却塔の菌対策などにも活用されています。

開発のきっかけは取引先からの相談

かつてきているそうです。薬品系の商品と比較して、殺菌の持続性が高いことや、人と環境にやさしい、間違っても入っても安全であるということから、ペットや赤ちゃんがいる家庭で安心して使うことができます。また、塩素系やアルコール系の消毒薬に肌が荒れてしまう人なども安心して使うことができます。この他、公衆浴場の循環水の除菌、抗菌、消臭や水耕栽培の菌対策などにも用いられています。



▲サンテクノ 江口日出雄さん

現在、他社でパッケージングされた商品の製造元として銀イオン水を販売している江口さんは、地元大府の人に安価に提供し、もっと利用価値を知ってもらいたいとも考えており、市民に対しては個人販売を行っていきたくと話しています。商品についてのお問い合わせは、電話でサンテクノ江口さん（☎4405006）へ。

実績に裏付けられた確かな安全性
14年以上の販売実績において一度もクレームがなく、あいち小児保健医療総合センターやルミナス大府、げんきの郷のできたて館などで行われた実証実験を通して銀イオン水の安全性と菌への効果も証明されています。サンテクノの江口日出雄さんは「ウェルネスバレーブランド」に登録されることで、取引先からの信頼度の向上、販路の拡大を期待していますと話します。



吉見製作所×愛厚ホーム大府苑
腰サポーター

あり、密着面積が少なく蒸れにくいため、暑い中や長時間でも活用しやすいのも特徴の一つ。腰痛を引き起こす要因となるような姿勢をとる作業（介護、農業、重量物取扱業務一般）、日常生活での利用が期待できます。



楽になった「腰の曲げ伸ばしが楽になった」「中腰で行う仕事が楽になった」という感想があった他、「重量物をより軽く感じられるようになった」との意見もあり、対応するタイプの開発も始めています。ウェルネスバレーブランドの認定について、吉見製作所の坂一宏さん・安田寛治さ

んは「自分たちも製品を多くの人に利用してもらい、ウェルネスバレーブランドの価値を高めていきたい」と話します。商品の値段は、L・Mサイズ、6万5555円、S・SSサイズ、6万2855円（いずれも税込み）。まずはフィッティングや試着貸し出しができるので、気になる方は、電話またはメールで吉見製作所（☎483890、✉info@yoshimi-inc.co.jp）へ。

サンサン大府×ルミナス大府 飲料用オープナー



ペットボトルが開けづらい

障がいのある方が、自立した日常生活および社会生活を営むことができるよう、生産活動などを通じて福祉サービスを提供するサンサン大府では、地元企業のタツミ化成(株)や自衛員ボランティアグループ「三」とともにペットボトル、パウチ飲料、缶の3種類のふたを開けることができる「ワンダフルオープナー」を開発しました。

開発のきっかけは、タツミ化成の製品生産の過程で出る余ったプラスチックチップを活用できないか市役所を通



▲サンサン大府 塚本鋭裕さん

じてサンサン大府に相談があったことから。高齢者や障がいのある方など、ペットボトルや缶のふたを開けるのに苦労している方が多くいることから、外出時に気軽に持ち運べ、簡単に安全に飲料容器のふたを開けることができるものを作りたいと考えました。

細部まで使いやすさを追求

開発段階で、ルミナス大府の要介護者や高齢者の方にオープナーを利用してもらい、その感想を集めました。利用者からは「缶のプルトップは固くて開けづらいがオープナーを使うと、よく引っかかって開けやすい」「ペットボトルを以前は、力任せか、お湯につけて開けていたが、オープナーを使うことで、片手だけでも開けることができるようになったなどの声があり、特に女性利用者から好評でした。より利用者が使いやすくなるよう、改良を重ね、腕の力が入りやすいようにグリップの大きさを調整したり、上下が分かるように、上部に反射材シールを貼ったり、持ち運びやすいよう、紐をつけた

りするなど、細かい部分にまで使いやすさを追求しました。

商品開発で施設利用者にも変化

サンサン大府の塚本鋭裕さんは「タツミ化成さんで商品は製造してもらっていますが、自主商品として、袋詰め、ひも付け、表側のシール貼り、説明書・商品の梱包などを施設利用者で行っています。これまでは、事業者からもらう内職などの仕事がほとんどでしたが、自分たちの施設の商品を作ることで、施設利用者は商品に関心を持ち、仕事への意欲にもつながっています」と話します。商品の名前をみんなで考えたり、施設内でいくつもの作業工程を行う中で、施設利用者の新たな能力の発見もあり、そのことが施設利用者の自信につながっているそうです。

商品の値段は1個150円(税込み)。サンサン大府の他、げんきの郷、あいち健康プラザ、喜多の湯などでも販売。お問い合わせは、電話でサンサン大府(☎466260)へ。



健康長寿をもっと身近に！



市ウェルネスバレー推進課
神取 愛

ウェルネスバレーブランドは、ウェルネスバレー関係機関である研究機関や施設、大学などの方とともに創り上げた商品やサービスを認定しています。医療・介護現場のニーズ(困りごと)を反映した商品、サービスの創出や、各機関の知見を生かして新たなビジネスにつなげていただくことが、超高齢社会の課題解決に貢献することを目指すウェルネスバレーの役割と考えています。こういったブランド認定商品を市民の皆さんに使用していただくことで、ウェルネスバレーや健康長寿を身近に感じていただければと思います。

ウェルネスバレー推進協議会ではブランド認定制度の他、あいち健康の森公園周辺地区の交流とにぎわいづくりのイベントや、主に企業の方を対象にした健康福祉医療関連のセミナーなどを実施しています。今後もこの地域の強みを生かして、人や企業、情報を県内外から呼び込めるよう進めていきたいです。

げんきの郷×至学館大・
あいち小児・国立長寿
弁当シリーズ



食べながら丈夫な骨づくり！
栄養バランスに優れ、カルシウム、ビタミンD・Kを摂取でき、骨を育てる「骨育弁当」「骨太弁当」の2種類を認定。至学館大学が栄養成分計算・分析・メニューに関する助言・指導を行い、あいち小児保健医療総合センター、国立長寿医療研究センターが情報提供、ひとくちメモ監修を実施。JAあがりタウンげんきの郷で調理、販売しています。販売価格は骨育弁当が750円「骨太弁当」が650円（いずれも税込み）。詳細は、市ホームページをご覧ください。電話でげんきの郷（☎4540800）へ。



えみのわ×至学館大学
健康メニュー



食事制限を気にせず外食を！
糖尿病や高血圧などで食事制限のある方も、家族や友人と一緒に外食を楽しんで欲しい。そんな思いで市内の商店主たちが集まり作ったグループ「えみのわ」が開発した外食メニューです。メニューの栄養成分計算・分析、栄養指導を至学館大学が実施し、エネルギーや食塩を抑えながらも満足感が得られるよう工夫されています。市内東鮮共和店、炭火焼鳥とてん、四季ダイニング菜の葉、うどんの大島屋で850円～2592円（税込み）の価格帯で販売。お問い合わせは電話でえみのわ（東鮮共和店内・☎4645563）へ。

**長年の実績を生かし
大府ブランドを世界に！**



大府商工会議所
鏡味 勝正さん

大府商工会議所は、ウエルネスバレー関係機関として、ウエルネスバレーブランド認定の審査に関わっています。また、ブランド認定申請の受付場所として、ブランド認定を目指す事業者の皆さんからの相談を受ける役割も担っています。

大府商工会議所では、以前より「大府ブランドを世界に」という目標を掲げています。ウエルネスバレーブランドは始まったばかりで、地域ブランドとしての価値をどうやって高めていくかが今後の課題ではありますが、ウエルネスバレー関係機関が持つポテンシャルは全国的、世界的にも高いものがありますので、意欲ある事業者とウエルネスバレー関係機関とをつまぐ連携させていくことが重要だと思っております。大府商工会議所には、10年以上にわたり大学や公的機関と産学官連携事業を継続して実施して培ってきた経験とネットワークがあります。新しい商

品のアイデアは持っているが商品化のノウハウを持っていなかったり、販路開拓に苦労していたりする事業者さんには、これらの経験やネットワークを生かし、それぞれに合ったマッチング、サポートを提案していきたいと考えております。

こうした地道な取り組みによって、最近では、ウエルネスバレー関係機関と連携して開発した商品が創出されるようになってきました。これらの取り組みを一步一步積み重ねていくことで、ウエルネスバレーブランドの価値を高めるとともに、市外、県外にウエルネスバレー地区のポテンシャルの高さを知らしめ、全国からウエルネスバレーブランド認定の申し込みが来ることを期待しています。

将来的には、既にブランド認定された商品をウエルネスバレー関係機関と連携してさらにブラッシュアップさせたり、形のないサービスの分野にもブランド認定をするなどしてウエルネスバレーブランドの価値を高めていくとともに、消費者の皆さんに安心して使ってもらえるよう、ブランドの信頼度を高めていきたいと思っています。そして新たな多くの魅力ある商品やサービスが生まれてくればと願っております。